

# 2020年11月の記事一覧

## 【小・中交流】構成的グループエンカウンター

11月19日（木）に小・中学校の児童生徒が交流する活動として、本校が実施している構成的グループエンカウンター（SGE）を行いました。今回の活動は、「色探しぬり絵」です。

4チームに分かれて、一人一人がお手本となっている絵を見て、それをチームメイトに伝えて、お手本どおりの絵をみんなで協力し合って、描いていきます。



チームメイトで協力し合って、作戦を立てたり、お互いに声を掛け合ったりしながら、学年や小中学生の壁を越えて、協力していました。

それぞれの絵が出来上がり、4チームが仕上げた絵を一つに合わせると、見事「勇太鼓」を演奏する別子小・中学生の絵が完成しました。



最後のシェアリングでは、

「お互いの得意なところを生かしてできた。」

「仲間を信じることで、うまく描くことができた。」

「色が間違っていないか、不安もあったけど、チームメイトが助けてくれて、うれしかった。」

などの思いを共有できました。



完成した絵は、本校の階段踊り場に掲示しています。

この活動から、小・中学生の交流がさらに深まっています。

## 1 1月24日【小】今井醤油店さんに出前授業をしていただきました。

角野地区にある今井醤油店さんに出前授業をしていただきました。身近な調味料の一つである醤油について、香り、色、味の3つの視点から様々なことを教えてもらいました。醤油には、におい成分が約300種類含まれていることや、醤油を作るには、大豆や塩などのほかに、コウジカビが必要であることを知り、児童は驚いていました。醤油の味見をさせていただくと、種類によって味が違うことに驚きながら、「おいしい！！」と味わっていました。最後に、醤油のお土産をいただいたので、家庭でも様々な料理に使って、醤油のおいしさを感じて欲しいです。



## 【中学生】朝の活動

朝読書の風景です。

中学生全員が時間に余裕を持ち、心を落ち着かせて朝読書に取り組んでいます。

3連休が明け、新しい一週間のよいスタートが切ることができました。

この調子で、明日からの期末テストにも全力で挑んでほしいと思います。



## 1 1月20日【小】角野小学校へ交流学習に行きました。

今年度初めての交流学習ということで、子どもたちは、「早く行きたい！」「〇〇ちゃんに会えるかな。」と、とても楽しみにしていました。角野小学校に着くと少し緊張した様子でしたが、2、3、4年生のそれぞれのクラスに入ると、元気に友達と話す姿が見られました。

普段とは違い、たくさんの友達と一緒に勉強することで、様々な考えに触れることができ、良い刺激を得られたと思います。また、2、3年生は「ふれあい動物園」、4年生は「お楽しみ会」など、貴重な体験もさせていただきました。

交流後には、「友達できたよ！」「とっても楽しかった。」と充実感たっぷりの顔を見ることができました。今回の交流学習を通して感じたことや学んだことを、別子小学校での生活にも生かしていければと思います。

角野小学校のみなさん、ありがとうございました！



11月19日【小】住友化学、住化不動産の方に来ていただき、寄贈式を行いました。

住友化学株式会社及びグループ会社である住化不動産株式会社の2社合同により、別子小学校に対してコンピューターミシン、IH調理器、デジタルカメラ2台を寄贈していただきました。寄贈を記念し、住友化学、住化不動産の方に来ていただき、寄贈式を行いました。寄贈式では、それぞれの会社に会社説明をしていただき、子どもたちが疑問に思ったことを質問しました。パンフレットを見て、「パンフレットに英語が書いてあるのはどうしてですか。」という質問に、「外国にも関連会社があるからだよ。」と地図を見せながら答えていただきました。今回の寄贈式を通して、住友化学、住化不動産のことがよく分かったと思います。最後に、代表の児童が「ミシンを使って、バックを作るのが楽しみです。ありがとうございました。」と感謝の気持ちを伝えました。その他の児童たちも、「カメラできれいな紅葉が撮れるね!」と嬉しそうに話していました。今回いただいた物を、しっかり活用し子どもたちの学習の充実に役立てていきたいと思ひます。



### 【立志寮】第24回寮生会

10月29日に第24回寮生会を行いました。

今回の話合いのテーマは、『寮生と寮のスタッフの方とのコミュニケーションを深めるために』です。

前回から引き続いてのテーマとなりますが、今回は、感謝の気持ちをどう伝えるかについて話し合いました。



寮生は、この日までに寮に関わるスタッフの方の仕事について調べ、一人一人のスタッフの方が、

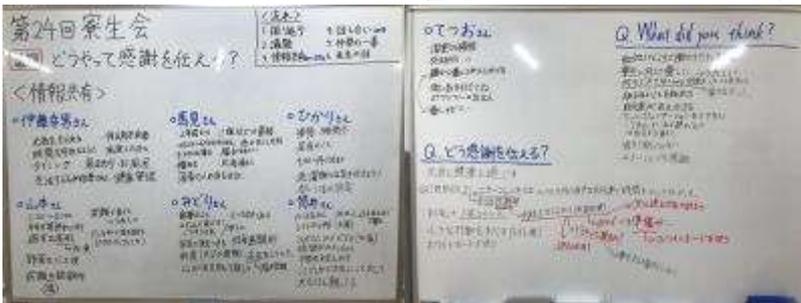
どんな仕事をどんな気持ちでしてくださっているのかを報告し、情報共有しました。それを聞いた寮生たちは、自分たちの知らないところで、多くのスタッフの方々に支えられて、寮生活が成り立っていることを実感し、感謝の言葉を口にしていました。感謝を伝える方法として、直接言葉で伝えることや、ハガキや手紙を利用すること、

さらには何気ない日常会話を大切にすること、立志寮生として明るく元気に過ごすことなどが  
出ました。



感染症対策の影響で人との距離が広がるなかで、心の距離が縮まる  
温かい話し合い活動になりました。

改めて、立志寮のスタッフの皆さんに感謝いたします。



## 11月17日【小】マラソン大会がありました。

11月16日に別子小・中学校マラソン大会がありました。子どもたちは、この大会に向けて、体育の時間に試走を繰り返し、精一杯走れるよう練習してきました。その成果もあり、本番当日はこれまでのベストタイムを更新することができました。マラソン大会後の感想では、「走るの苦手だけど、みんなの応援のおかげで頑張れました。参加してよかったです。」と達成感を得られていました。

マラソン大会を通して、大変なことにも挑戦し頑張るという心が育ったのではないかと思います。この頑張りをこれからの生活に生かしていければと思います。



## 【中1】大洲青少年交流の家（3日目）

最終日は、午前中に野外炊飯でカレーづくりを行いました。  
火をおこしたり、野菜を切ったりとそれぞれに役割分担を決めて、  
協力しながら活動できました。

カレーの作り方や味は、家庭によって少し違っているようで、みんなで対話しながら作っていたのが印象的でした。



出来上がったカレーは、ご飯もパーフェクト！  
そして、カレーのルーも野菜のかたさ、ルーのとろみ共にこれまたパーフェクトで、生徒はもちろんのこと、教職員も驚きの出来栄でした。最高においしかったですね！



最後に職員の方にこの3日間のお礼を伝えて、5人とも元気に全日程を終えて、学校へと帰ることができました。



後日行われた、この3日間を振り返る学級活動では、クライメイトのよいところを共有し、自分の成長を実感するような話合いができ、この集団宿泊体験から学んだことが多かったことが分かりました。この経験を生かして、更に学校生活を充実させていきましょう！

## 【中1】大洲青少年交流の家（2日目）

2日目は、午前中にクライミングウォールを行いました。  
最大8mのクライミングウォールを全員が登り切ることができました。  
その高さによる恐怖や自分の体力と闘い、コース取りで頭を使ったり、  
下から見ている仲間のアドバイスを聞いたりしながら、  
一つ一つしっかりホールドしながら登っていました。



午後は、肱川でカヌー体験です。  
少人数での参加だったため、一人一艇ずつ借りることができ、時間いっぱいまで、  
十分に楽しむことができました。  
みんなの上達が早かったこともあり、インストラクターの方が普段は行かない  
場所まで案内してくださったり、難易度の高いパフォーマンスに挑戦させてくれたりしました。



夜は、星空観察で月や木星、土星を望遠鏡で観察しました。  
月のクレーターや木星の模様、土星の輪などもきれいに見えて、歓声とともに  
大きな感動に包まれていました。  
その後、講師の先生からびっくりするような流れ星の写真を見せていただいたり、  
宇宙の仕組みを教えていただいたりと驚かされっぱなしの時間となりました。  
この日はきっとよく眠れたことでしょう。

## 【中1】大洲青少年交流の家（1日目）

10月20日～22日の2泊3日で中学1年生が大洲青少年交流の家で集団宿泊学習を行いました。

ホームページへの掲載が遅くなりましたが、活動の様子をお伝えします。

天候が心配されましたが、初日、2日目までは穏やかな晴天に恵まれました。最終日は、雨天になりましたが、屋根のある屋外施設での野外炊飯だったので、大きな影響がなく全行程を無事に終わることができました。

出発式を終え、全員が予定どおり参加しました。

小学生や上級生に見送られながらの出発です。



ウォークラリーでは、5人が1つのチームとなり、地図を片手にみんなで協力しながら、少し道には迷いましたが、無事にゴールできました。大洲城では、2年前の西日本豪雨のことも学びながら、大洲市街地を眺めて、みんなで写真を撮りました。



夜は、座禅を行いました。

初めて体験する生徒も多く、和尚さんからは、

「自分は何のために生まれてきたのか？」という問いを与えられ、

座禅を組みながら、物音一つない厳かな雰囲気の中、自分と向き合い続けました。



最後に、全員で振り返り会を終え、無事に1日目を終了しました。

## 11月11日【小】出前授業「SDGs買い物ゲーム」をしました。

愛媛県金融広報アドバイザーの方に来ていただき、SDGsに関する出前授業をしてもらいました。今回の出前授業では「食品ロス」を中心に取り上げ、食品ロスを減らすために、自分たちに何ができるか考えました。

お話の中で、日本では年間東京ドーム5杯分の食品ロスがあること教えてもらったり、破棄になった食品の写真を見せてもらったりして、子どもたちは、「もったいない」という考え方の大切さを感じていました。買い物ゲームでは、産地や値段を考えてカレーの材料を買う活動を通して、普段の買い物や食事から、食品ロスを減らすことができることに気付いていました。

授業を通して「お菓子を買いすぎないようにしたいです。」「好き嫌いをなくご飯を食べて、食品ロスを減らしたいです。」など、食品ロスを減らすために自分にできることを考えることができました。

これからもSDGsに関する学習を続けながら、自分たちにもできる身近なことについて考えていきたいと思えます。



## 産業文化祭（学習成果発表会）

11月8日（日）に別子山地区の産業文化祭が行われました。

公民館の展示では、地域の方の文化作品に加え、本校生徒の様々な作品も展示されました。

野菜の品評会では、別子ファームで収穫した「水菜」と「サラダ菜」で金賞を獲得し、地域の方々が作った野菜と並んで展示されました。

児童・生徒たちは、様々な展示作品や野菜を鑑賞しながら、嬉しそうな表情を見せていました。



産業文化祭に合わせて、本校体育館では、別子小・中学校の学習成果発表を行いました。

まずは、3年生の英語を使ったメッセージや歌の発表です。

新型コロナウイルスによる世の中の動きを受けて、コロナに負けない力強いメッセージを伝えていました。また、英語の歌を披露する場面では、5人それぞれがソロパートを担当し、すばらしい歌声を響かせてくれました。



中学生による「別子ファーム」の発表では、

1, 2年生が中心となってプレゼンテーションを行いました。  
地域の方や保護者の方に別子ファームに対する思いを伝えたり、  
野菜づくりを担当する班によるパフォーマンスもあり、会場を大きく盛り上げました。



さらに全校児童・生徒による校歌合唱、また、小学生による歌や合奏があり、  
中学生は、合唱曲を2曲披露しました。



最後に、毎年恒例となっている「新居浜勇太鼓」を児童・生徒全員で力強く演奏し、  
フィナーレを迎えました。



会場に来られた多くのお客様から「感動した」というお声をいただくほど、  
大変充実した時間となりました。

児童・生徒のみなさん、本当にお疲れさまでした。  
皆さんの一生懸命な姿が多くの人の胸を打ちました。ありがとう。

## 1 1月8日【小】産業文化祭がありました。

別子校区産業文化祭で小学校は音楽発表をしました。合唱「パフ」、合奏「ミッキーマウスマーチ」、4年生は「エーデルワイス」のリコーダー奏をしました。3年生はリコーダーの学習が始まったので、「パフ」の3、4番でリコーダーの演奏をしました。2年生は「ミッキーマウスマーチ」の鍵盤奏をリズムに気を付けながら演奏しました。昨年度から学年が一つ上がり、演奏の難易度も高くなりましたが、授業中や休み時間にも練習し、本番では全力の演奏ができました。たくさんの方に見ていただいて、緊張している様子でしたが、終わった後は達成感が伝わってきました。



また、別子地区に伝わる新居浜勇太鼓を中学生と演奏しました。中学生も合わせた全員で心をつなげて、演奏することができました。和太鼓の迫力ある音が体育館に響き渡り、太鼓祭りの雰囲気を感じることができました。



文化祭では、作品展示もありました。自分たちの作品や、中学生の作品を見て、「この絵、影も描いててすごい。」とそれぞれの作品の上手なところを見つけていました。文化祭を通して、芸術の秋を感じることができたのではないかと思います。今回経験できたことを、今後の生活に生かしていければと思います。